

令和7年3月3日

関係国公立大学長
関係研究機関の長 殿
海外関係研究機関の長

千葉大学大学院園芸学研究院長 百原 新

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は本研究院の教育研究にご支援・ご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

さて、本研究院では下記の通り教員を公募することにいたしましたので、ご高配のほどお願い申し上げます。

敬具

記

1. 公募内容

- (1) 職種・人数 講師または助教 1名
(助教の場合は任期5年のテニュアトラック制)
- (2) 所属 大学院園芸学研究院 先端園芸工学講座
- (3) 着任時期 令和7年10月1日以降のできるだけ早い時期
- (4) 主要な担当予定授業科目（講師の場合）
 - ・ 博士前期課程（緑地環境システム学領域）
特別研究Ⅰ、その他分担科目
 - ・ 園芸学部（緑地環境学科）
卒業研究、緑地科学演習（分担）、緑地科学実験実習（分担）、環境空間情報学（分担）
 - ・ その他
普遍教育科目を分担することがある

2. 応募条件等

- (1) 博士の学位を有する、または着任時までに取得の見込みがあること（令和7年度末の取得を含む）
- (2) 実務経験は問わないが、日本語での授業や研究指導が可能であること
- (3) 募集する講座と教育研究領域
このたび募集を行う先端園芸工学講座では、遺伝子から個体・集団までの情報を包括的に扱い、植物とその生育環境を幅広くかつ深く理解することを通じて、スマート社会の実現に貢献する研究を行っています。また、ご担当いただく教育研究領域は緑地環境システム学です。学部教育では、緑地環境を対象としてその仕組みの解明や保全の技術、さらには快適なランドスケープを創造または再生していく能力を持った人材を育成しています。大学院教育では、ランドスケープのデザイン・マネジメントや、健康・福祉に関わる緑地の利用の課題とも関連させつつ、緑地環境に関する分析・総合評価・技術開発を通して、自然と共生する都市・地域の再生や循環型社会の構築に貢献できる高度技術者・研究者を育成しています。
- (4) 求める人材
気候変動など予測困難な自然環境の変化が生じつつあり、自然環境を基盤とする人間社会の持続可能性も危惧されています。その中で、生態系内の複雑な物質間・生物間の相互作用や、物質や生物群集の動態の理解に基づき、持続可能な自然環境のあり方を提案する新しい

生態学の確立が期待されています。このためには、特定の生物群や時間・空間のスケールのみを対象としていた従来の生態学の研究を刷新し、生態系の生産者・消費者・分解者を含む複雑な生物群集の動態や相互作用の研究を進める必要があります。これらの観点に立ち、研究に関しては、例えば DNA/RNA メタバーコーディングなどの分子生物学的手法と機械学習やベイズ統計などの情報科学・統計的手法に卓越した知識と経験を有し、柔軟な発想で新領域を開拓するチャレンジ精神旺盛な人材を求めます。教育に関しては、緑地環境に関する生態学とデータサイエンスの教育を行う能力を有し、園芸学研究科をランドスケープの教育拠点とするようなグローバル教育に関心がある人材を求めます。

なお、担当予定の主な授業は日本語で行われますが、いくつかの科目において英語での講義も求められます。また、大学その他の管理運営にも積極的に参画していただくことが求められます。

3. 応募書類

- (1) 履歴書・業績目録（指定の様式あり ※）
 - (2) 学術論文・著書のうち、代表的なもの 5 編以内
 - (3) 現在までの教育・研究の概要と今後の抱負（2,000 字程度）
 - (4) 応募者の人物像をよく知る方 2 名のお名前と連絡先
- ※ 履歴書・業績目録については、必ず指定の様式にて作成ください。
以下の URL よりダウンロードできます。

<https://www.h.chiba-u.jp/outline/recruit/index.html>

4. 応募期限 令和 7 年 4 月 30 日（水）15 時必着

5. 応募書類の送付先 応募書類を全て PDF ファイルに変換して、JREC-IN Portal より提出してください。

JREC-IN Portal『園芸学研究院 講師または助教の公募（先端園芸工学講座/緑地環境学科・緑地環境システム学領域）』

<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail/Changelang?id=D125030048&lang=0>

この方法による提出が困難な場合、または、提出後一週間以上受領の連絡がない場合は、以下のメール宛にお問い合わせください。

千葉大学松戸地区事務課総務係 メール：zaf8703@office.chiba-u.jp

6. 履歴書・業績目録の作成要領（所定様式 1 ページの注意事項にも従ってください）

- (1) 履歴書：学歴は高校卒業から記入し、外国における留学および研究は 6 ヶ月以上の滞在履歴のみ記入してください。
- (2) 業績目録
 - 1) 原著論文：以下の 2 つのカテゴリーに分けて記載してください。
 - ・査読制度のあるもの：学会誌や学術誌などでレフリー制度のあるもの
 - ・その他の学術論文
 - 2) 著書および訳書：単著と共著を区別し、共著の場合は分担部分を明記してください。
 - 3) 報告書
 - 4) 総説・資料・書評
 - 5) 普及・実用記事
 - 6) 学会・研究会・講演会・シンポジウム・セミナー等：最近 5 年間の発表で、要旨集などに収載された主要なもの 10 件以内（ただし、これまでの発表の総数を当該欄の最後に「合計〇〇件」と記入してください）。また、開催地は明記してください。
 - 7) 計画・設計：雑誌などに掲載されたものと、それ以外を分けて記載してください。
 - 8) 特許
 - 9) 資格・技術

1 0) 教育業績：これまで担当した授業科目・演習・研究指導など（学部・大学院・その他）があれば、その一覧を記載してください（ポストク時の研究指導などを含む）。

1 1) 特記事項

- ・社会貢献・国際・大学運営などの業績調書
- ・科学研究費等の外部資金調達状況：科研費、その他の外部資金の順に記載してください。

7. 勤務形態 区 分：常勤職員
任 期：講師は任期なし。
 助教は任期 5 年のテニユアトラック制（※）
試用期間：6 ヶ月（終了後は勤続年数に通算）
定 年：満 65 歳

※原則として採用から 3 年目に中間評価、5 年目にテニユア審査を実施し、可とされた場合にテニユアが付与されます。

8. 待 遇 給 与：年俸制とし、本学の新年俸制給与規程（※ 1）により決定
勤務時間：基本は 38 時間 45 分/週。同意のうえ専門業務型裁量労働制を適用
休 日：土日祝日および年末年始
 詳細は国立大学法人千葉大学就業規則（※ 2）のとおり
保 険：文部科学省共済組合に加入、雇用保険有、労災保険有

※ 1 国立大学法人千葉大学新年俸制職員給与規程

<https://www.chiba-u.ac.jp/general/JoureiV5HTMLContents/act/print/print110001356.htm>

※ 2 国立大学法人千葉大学就業規則

<https://www.chiba-u.ac.jp/general/JoureiV5HTMLContents/act/frame/frame110000034.htm>

9. 応募に関する問い合わせ先

緑地環境システム学領域長 梅木 清

電話: 047-308-8960 E-mail: umeki@faculty.chiba-u.jp

1 0. その他

- (1) 選考の過程で、松戸キャンパスに来学してセミナーや面接を行っていただきますが、旅費は支給されません。
- (2) 業績などについて、追加の資料提出を求める場合があります。
- (3) 千葉大学では、年齢構成の適正化（各年代が同数程度の構成）を図るとともに、若手教員の育成・活躍促進を後押しし、持続可能な教育研究体制を構築するため、若手教員採用比率 60%以上を目標として教員人事を進めています。

<https://www.chiba-u.ac.jp/about/approach/innovation/index.html>

以上